

科目名称：	基礎教養 I (ビジネス実務学科)	
担当者名：	岡野 絹枝、藤元 宏一、井上 克洋、瀬戸 就一、中原 亜紀美、廣瀬 元	
区分	授業形態	単位数
基礎教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
<p>本演習は、初年次教育と職業理解を組み入れたプログラムで、入学目的の確認や基本知識のセルフアセスメント(自己評価)などの自己理解、職業理解・職業設計、他人との協力方法などのグループワークを行うものです。「自己理解」では、自分に不足していることを確認し、今後何を学ぶべきかを明確にします。「職業理解・職業設計」では、自分の興味関心・適性・価値観に基づいて将来ビジョンを描き、その目標達成のために「カフェテリア履修」におけるフィールド・ユニットの選択につなげます。また、様々な職業分野の話の聞き、「働く」ということについて考えます。さらに、社会人基礎力(前に踏み出す力・考え抜く力・チームで働く力)を伸ばしていくことも目標としています。そのため、体育祭等の課外行事で他者と協力することも積極的に奨めます。</p>		
授業の達成目標・到達目標		
<p>自己分析結果と職業理解から各自の進路を模索し、各自に最適なフィールド・ユニットを選択できるよう導きます。さらに、グループワークなどに取り組むことで、他人との協力方法などの社会人基礎力を修得することが目標です。</p>		

基礎教育科目	ディプロマポリシー (卒業認定・学位授与の方針)	重点項目
DP (1)	建学の精神「遊学の精神の涵養」と設立の理念「金城から地球を歩こう」を基に、基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身についている。	○
DP (2)	優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、それぞれの専門分野において貢献できる実践力を身につけている。	
DP (3)	多様な社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	○
DP (4)	学生一人ひとりが、様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力が身についている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
全学DP (1)			45	5	50
全学DP (2)					0
全学DP (3)			45	5	50
全学DP (4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容 (内容・経験年数を記載)	
なし		

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 オリエンテーション：授業ガイダンス（大学での学び方、基礎教養を学ぶ、今後の予定など）	シラバスを熟読して授業全体の概要を把握しておく。	10分
第2回 セルフアセスメント（自己評価）Ⅰ：「コミュニケーションスキル」、「基本マナー」	コミュニケーションスキル、基本マナーの自己習熟度について考えておく	20分
第3回 セルフアセスメント（自己評価）Ⅱ：「文書作成スキル」、「ITスキル」	文書作成スキル、ITスキルの自己習熟度について考えておく。	20分
第4回 自己診断学力テストⅡ：数学・国語	数学・国語テキストの学習	90分
第5回 アクティブラーニングの基本：グループワーク	アクティブラーニングについて調べておく。	20分
第6回 先輩体験談Ⅰ：リーダー研修について各クラスで個人面談Ⅰ	リーダー研修について、事前に調べておく。	20分
第7回 先輩体験談Ⅱ：インターンシップについて各クラスで個人面談Ⅱ	インターンシップについて、事前に調べておく。	20分
第8回 先輩体験談Ⅲ：海外研修について各クラスで個人面談Ⅲ	海外研修について、事前に調べておく。	20分
第9回 キャリアデザインの基礎Ⅰ：キャリアマップの作成	自分の興味のある項目について考えておく。	30分
第10回 キャリアデザインの基礎Ⅱ：持ち味リストの作成とグループでのふりかえり	前回実施内容の復習	20分
第11回 職業理解Ⅰ：企業人講話「専門職種の内容①」	講話担当講師の企業について、HP等で調べておく。	30分
第12回 職業理解Ⅱ：企業人講話「専門職種の内容②」	講話担当講師の企業について、HP等で調べておく。	30分
第13回 職業理解Ⅲ：企業人講話「専門職種の内容③」	講話担当講師の企業について、HP等で調べておく。	30分
第14回 キャリアデザインの基礎Ⅲ：前期のふりかえりと今後のキャリア形成プランの作成	これまでの授業内容をふりかえってまとめておく。	60分
第15回 ガイダンス：カフェテリア履修（フィルード・ユニット選択）ガイダンス	入学直前に行ったカフェテリア履修演習の内容を再確認しておく。	30分

事前事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記しましたが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要です。
また、事前事後学修としては、次回までの課題プリントをまとめることになります。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。 その他の評価配分は、以下のとおりです。
レポート内容90%、授業への貢献・積極的関与および課外行事を10%で評価します。

課題に対するフィードバック

授業内で提出したレポートについて、評価し返却します。

教科書・参考書

必要な資料等はその都度配付します。